

ろう学校の名称残して

静岡聴覚障害者が署名活動

県聴覚障害者協会静岡支部（静岡市ろっあ協会）などは一日、静岡市内五カ所で、県内のろう学校の名称を「聴覚特別支援学校」に変更することに反対する街頭署名活動を行った。

静岡市葵区の呉服町通りでは、県立静岡ろう学校の児童や卒業生らが手作りの看板やのぼり旗を掲げ、手話ボランティアを介して署名の意図を賣い物客らに訴えた。
名称変更は文部科学省

が推進する「特別支援教育」の構想に基づいた措置。反対理由として、聴覚障害者は「ろう」という言葉に愛着を持っていることや、将来的に養護学校などと併合され、手話教育が維持できなくなる危惧（きぐ）を挙げています。同市ろっあ協会総務部の山本直樹さん（三）は手話を介して「『特別



校名変更反対の署名を呼び掛ける聴覚障害者ら
 一静岡市葵区呉服町通り

止県午ら被船で環

へのン務測設候

支援」という言葉で、聴覚障害者を活さなければい

「けない病氣のように誤解されなにか心配」と強調した。

署名は三月中に県議会議長や石川嘉延知事に提出するという。